



**BRAVO II REFERENCE
POWER AMPLIFIER**

OWNER'S MANUAL

BRAVOII Power Amplifier 取扱説明書

はじめに

この度は VIOLA BRAVOII Power Amplifierをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。最新の技術と高品質のパーツを使用した、この画期的な製品は、非常に高音質で満足のいく音をお届けすることをお約束致します。末永くご愛用いただくためにも、ご使用前にぜひ一度本書をお読みくださいますようお願いいたします。

製品の保証について

製品の品質管理につきましては万全の体制を取っており、厳密な検査を経て出荷しておりますが、万一製品上の不備による自然故障が生じましたら弊社の保証規定に基づき、保証期間内であれば、保証書をご提示いただくことにより無償にて修理をさせていただきます。

保証書の発行について

お手数ですが、同梱しております保証登録カードに必要事項をお書きの上ご投函ください。弊社にてご利用者登録を行ない、同時に保証書を発行させていただきます。保証書が発行されていないと、保証期間内であっても有償修理とさせていただきますので得ない場合がございます。大変お手数ですが、保証登録カードのご返送を忘れないようお願いいたします。

尚、保証登録カードのアンケート項目にも、もれなくご記入くださいますよう重ねてお願いいたします。お寄せいただきましたアンケート、ご意見、ご感想は、わたくしどもの貴重な資料として今後の弊社のサービス向上に役立たせていただく所存でございます。

修理、アフターサービスの御用命について

修理、アフターサービスの御用命は、お買い上げいただいた販売店にお申し付けください。

アップロード・メンテナンス・プログラムについて

ご愛用の製品を常に最良の状態でご使用いただくために、製品輸入元による純正製品点検プログラム『アップロード・メンテナンス・プログラム』をご用意しております。

特に現在故障しているというわけではなくとも、長年の使用により、製品の各部に劣化が見られる場合があります。アップロード・メンテナンス・プログラムによる点検・整備により故障を未然に防ぎ、常に最良のコンディションで製品をご愛用いただけます。また、アップロード・メンテナンス・プログラムにて点検・整備された製品につきましては、1年間の製品保証が付属されます。

費用について

アップロード・メンテナンス・プログラムによる点検整備は、有償にて行います。費用は機器のグレードと製造後の年数によって異なります。費用のお見積りは、お買い求めいただいた販売店もしくは輸入元までお問合せください。

対象除外品について

お客様ご自身あるいは第三者など、当社技術部門以外の手による改造品につきましては、初期性能を保証することができませんので、アップロード・メンテナンス・プログラムの対象外とさせていただきます。

製造終了後9年を経過した製品は基本的にアップロード・メンテナンス・プログラムの対象外とさせていただきます。長年ご愛用いただいた製品がアップロード・メンテナンス・プログラムの対象かどうかは、お買い求めいただいた販売店もしくは輸入元にお尋ねください。

点検整備について

アップロード・メンテナンス・プログラムによる点検整備は、実働・機能に関わる部分のみとなります。外観の整備は含まれません。

アップロード・メンテナンス・プログラムによる点検整備は、対象製品が実働することが前提となります。修理が必要な場合には、修理品扱いとなります(アップロード・メンテナンス・プログラムの点検費ではなく、基本修理費が適用となります)。

アップロード・メンテナンス・プログラムによる点検整備により、消耗部品、劣化部品などの交換が必要な場合には、別途部品代実費をご請求いたします。

お申し込みについて

アップロード・メンテナンス・プログラムによる点検・整備のお申し込みに関しては、お買い求めいただいた販売店にお願いします。

個人情報の取り扱いについて

弊社では、お求めいただいた高価な製品を末永くご愛用いただくために、アフターサービスをご提供する目的で、製品に付属の「保証登録カード」にご記入・ご送付いただいてから「保証書」を発行するという方式を採用しております。お手数ではございますが、何卒主旨をご理解のうえご協力を賜りますようお願いいたします。

尚、「保証登録カード」にご記入、ご返送いただいたお客様を識別・特定し得る個人情報につきましては、弊社にて適切に管理することを社会的責務として重要と考え、下記の基本方針に基づき、お客様情報の保護、管理を徹底することを誓約いたします。

「保証登録カード」にご記入いただいたお客様情報の利用目的について

当社が得たお客様情報は、以下の目的以外には利用いたしません。

- ・お客様へのアフターサービス業務の基礎資料として
- ・弊社より発信するダイレクトメール等情報のお届けのため

お客様情報の管理について

当社はお客様情報を取り扱う管理責任者を置き、紛失、漏洩、不正な第三者提供などが無いよう、お客様情報の取り扱いに十分な注意を払います。

収集したお客様情報の第三者への提供、開示について

収集したお客様情報をお客様のご許可なく弊社以外の第三者に提供することはありません。但し、お客様と当社間で製品の配送等のために、お客様に明示することなく委託業者に対しお客様情報の一部を開示することがございますが、利用目的の必要範囲内に限定してこれを行います。尚、この場合にあっては委託業者に対し、お客様情報を他の目的に使用、もしくは開示しない義務を履行させるべく対応します。

情報発信の停止とお客様情報の削除について

弊社では、製品をご愛用いただいておりますお客様に、新製品やイベントの情報等を郵便や電子メールにより発信させていただくことがありますが、ご不要の場合にはお客様からのお申し出により差止めさせていただきます。

お客様よりお客様情報の削除の申し出があった場合には速やかにこれを削除いたします。

安全上のご注意

安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う危険が差し迫って生じることが予想される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

濡らさない

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。

電源ケーブルは大切に

電源ケーブルを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重いものを載せたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因となります。電源ケーブルが傷んだら、直ちに販売店にご依頼ください。

ご使用は正しい電源電圧で

設定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら

電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない

こぼれた場合、火災・感電の原因となります。

注意

電源ケーブルを熱器具に近づけない

ケーブル被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源ケーブルを抜くときは

電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。

ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

接続をする場合は、電源を切り、各々の機器の取り扱い説明書に従って接続してください。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり

倒れたりして、怪我の原因となることがあります。

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたる場所
- ・湿気やほこりの多い場所
- ・直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど高温になる場所

重いものを載せない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きいものをおかないでください。

バランスが崩れて倒れたり、落下して怪我の原因になることがあります。

お手入れの際は

安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

付属品について

- ・ お買い上げいただいたBRAVOII Power Amplifierの Kartonの中には、つぎのものが入っています。最初にご確認ください。
 1. - BRAVOII アンプ部本体
 2. - BRAVOII 電源部本体
 3. - 電源ケーブル
 4. - DCケーブル
 5. - OWNER'S MANUAL(本書)
 6. - 保証登録カード
- ・ 梱包材は、BRAVOII を輸送する際に必要です。大切に保管しておかれることをお勧めいたします。

付属の電源ケーブルは、他の機器に使用しないで下さい。

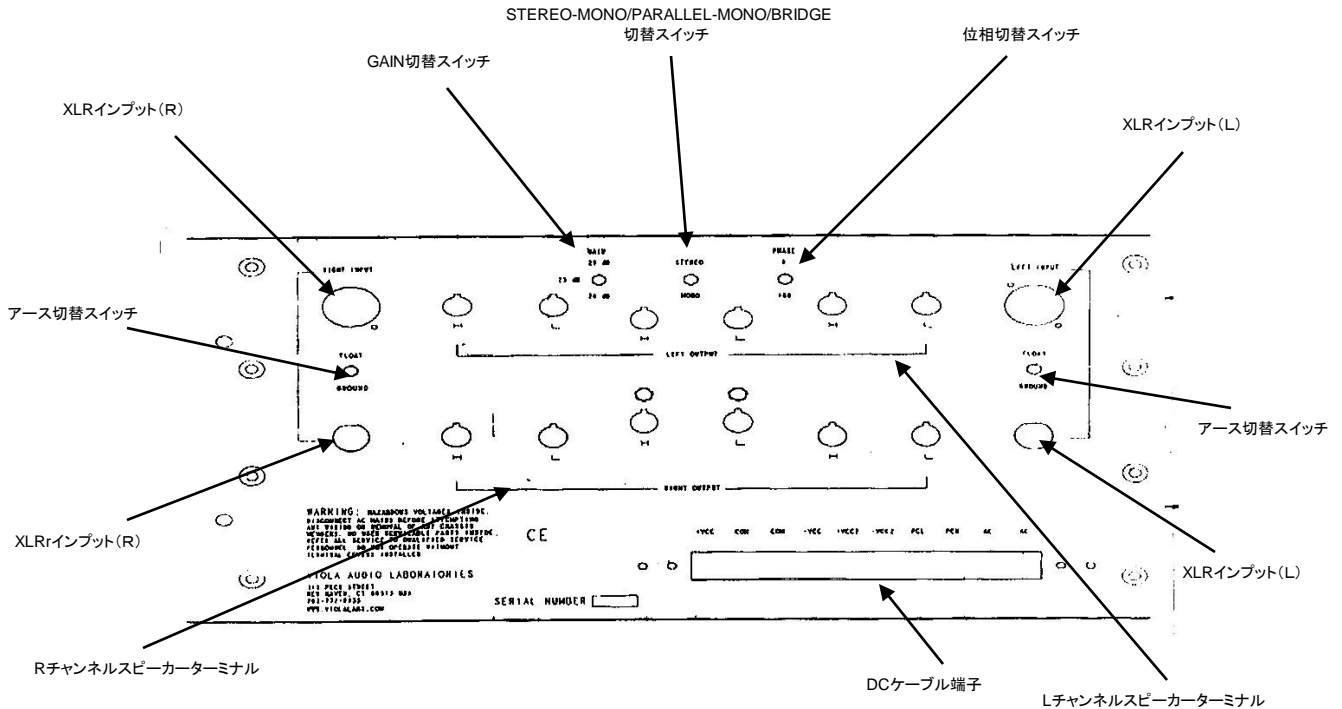
セッティング

- ・ BRAVOIIパワーアンプにはさまざまなセッティングオプションが用意されています。ドライブするスピーカーの近くの床の上にセッティングしたり、堅固なラックの上にもセッティングできます。アンプに使用されている高性能なクーリングシステムにより、アンプ部と電源部を重ねることもできます。
- ・ もし可能でしたら、ドライブするスピーカーのそばに置いて下さい。この場合スピーカーケーブルの長さは短くなり、プリアンプとの接続ケーブルが長くなります。よりダンピングの効いたダイナミックな音の再現が可能です。
- ・ BRAVOIIパワーアンプのクーリングシステムは、アクティブクーリングとパッシブクーリングの組み合わせを採用しています。放熱効率の良いヒートシンクシステムと冷却ファンによる強制クーリングシステムの組み合わせが、静かで安定した動作温度を保ちます。

プロテクション

- ・ BRAVOIIは、アンプ自身やスピーカーに対して何かダメージを与えるような障害を検知した場合、自動的に電源が切れます。このような場合、電源部のフロントパネルにある円状の**赤色のLED**が点灯し、異常をお知らせします。次のような障害原因が考えられます。
 - 出力時のDCの存在
 - 出力時の過電流(ショート等)
 - AC主電源の過電圧または低電圧
 - アンプ内の特定の部分での異常な動作温度
- ・ DCオフセットが大きすぎる場合や過電流の場合は、アンプやスピーカーを保護するために電源が切れます。通常の動作状態に戻すには、原因を取り除いてから電源を再投入して下さい(AC主電源ボタンを押す)。
- ・ ACの主電圧が高すぎても低すぎてもアンプは自動的に電源が切れます。通常の操作に適合するようにACの主電圧が戻るまで、アンプは動作しません。
- ・ BRAVOIIの高性能なクーリングシステムにもかかわらず、オーバーヒートが生じた場合、アンプの電源は自動的に切れます。原因を取り除けば、再び動作させることができます。さらに、AC入力の部分には、ショートの原因となる過電流からの保護のため、ヒューズがとりつけられています。

アンプ部リアパネル



スピーカーとの接続

BRAVOIIの電源が切れているのを確認して下さい。

- アンプのH(赤色)出力端子と、スピーカの+(赤色)入力端子とを接続します。
- アンプのL(黒色)出力端子と、スピーカの-(黒色)入力端子とを接続します。
- ☆スピーカーターミナルの上段がLチャンネル、下段がRチャンネルになっています。

注意！

アンプのバイディングポストを締めすぎないでください。従来のものよりもはるかに力が伝わりやすいように設計されています。特に道具にを使用しなくても、指の力だけでしっかりと接続することができます。

プリアンプとの接続(バランス入力)

BRAVOIIは、高品質なXLRケーブルを用いて、プリアンプのバランス出力と接続できます。BRAVOIIのXLR端子のピンの配置は以下の通りです。

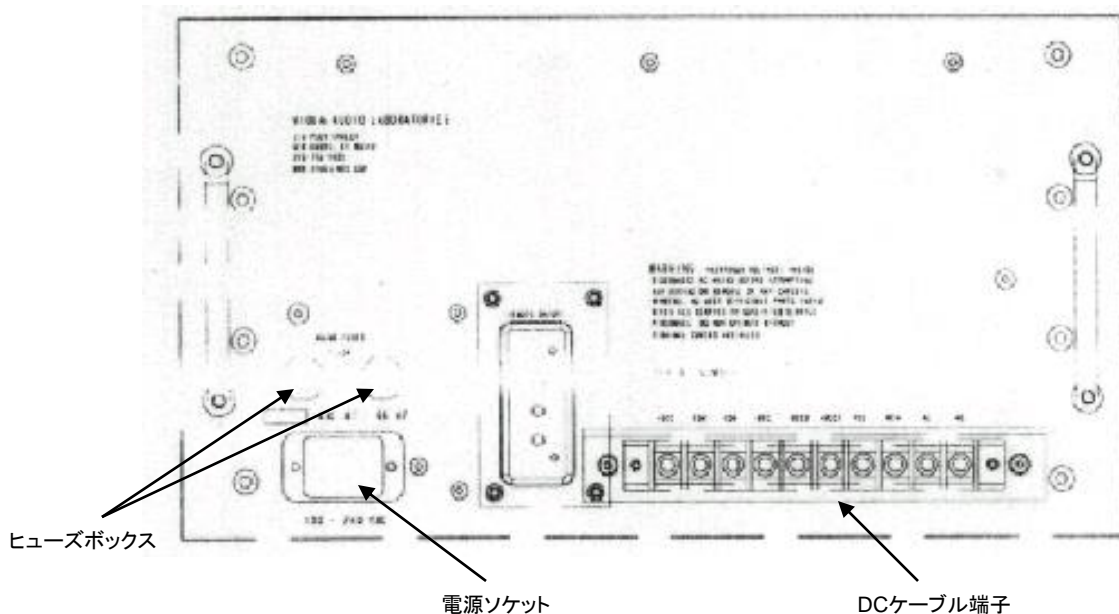


Pin 1: アース

Pin 2: +(正)

Pin 3: -(負)

電源部リアパネル



DCケーブルの接続

- カバーをマイナスドライバーで外し、付属のDCケーブルをアンプ部と電源部の10個ある端子に接続し、ネジを止めてください。DCケーブルは異なる10色の線を持っています。
- アンプ部と電源部のそれぞれ対応している端子に同じ色を接続するようにして下さい。例えば電源部の右端の“AC”に紫色の線を接続したら、アンプ部の右端の“AC”には紫色の線を接続します。接続が終了したらカバーを取り付けます。

電源ケーブルの接続

- 付属の電源ケーブルをACコンセントに差し込み、他端をBRAVOIIの電源部のACソケットに差し込んで下さい。
- 電源ケーブルを差し込むと電源部のフロントパネルの円状の**緑色のLED**が点灯し、スタンバイ状態となります。もし、**赤色のLED**が点灯するようでしたら、接続が正しくおこなわれていない場合が考えられます。全ての接続を再度ご確認ください。
- BRAVOIIの電源部のリアパネルには、ヒューズが2本取り付けられています。何か問題が生じた場合のみ、ヒューズが切れ回路を保護します。ヒューズが切れた場合、電源ケーブルを抜いて確認して下さい。

オペレーション

- ・ 全ての接続が正しくおこなわれていることをご確認下さい。正しく接続されていないと**機器を破損**する恐れがあります。
- ・ 電源部のフロントパネル上の点灯している**緑色のLED**を押して下さい。数秒後、アンプ部のフロントパネル上の**緑色のLED**が点灯し、動作モードになります。
- ・ 電源をオフにするには、電源部のフロントパネル上の点灯している**緑色のLED**を押して下さい。アンプ部のフロントパネル上の**緑色のLED**が消灯し、スタンバイ状態となります。

GAIN切替スイッチ

- ・ BRAVOIIのアンプ部のリアパネルに、GAIN切替スイッチがあります。バーを引っ張りながら上げ下げをして切り替えます。

STEREO/MONO切替スイッチ

- ・ BRAVOIIをモノラルアンプとして使用する時に必要な切替スイッチです。バーを引っ張りながら上げ下げして切り替えます。通常は(ステレオアンプとして使用する場合)、STEREOの位置にしてセットしておいてください。

位相切替スイッチ

- ・ 180度位相を反転することができます。BRAVOIIをモノラルアンプとして使用する時にも必要な切替スイッチです。バーを引っ張りながら上げ下げして切り替えます。

アース切替スイッチ

- ・ 回路の接地(グラウンド)の条件をLチャンネルとRチャンネルで独立して切り替えることができ、信号系のグラウンドを筐体接地とするか、あるいは筐体から切り離す(フローとさせる)かを選択することができます。使用環境によっては、ハムノイズを拾ったり、又、保護回路が働いて動作しないこともあります。どちらを選択するにしても、充分試聴した上で音質の良い方でお楽しみください。

モノ接続

BRAVOIIIは2チャンネルのステレオアンプです。このアンプはインターナルブリッジモードか、インターナルパラレルモードのモノアンプとしても使用できます。インターナルブリッジモードは、より電圧の要求されるハイインピーダンスのスピーカー(4Ω以上)に適しています。インターナルパラレルモードは、より電流が必要なローインピーダンスのスピーカー(4Ω以下)に適しています。

インターナルブリッジモード

リアパネルスイッチの設定

- 1) STEREO-MONO/PARALLEL-MONO/BRIDGE切替スイッチ: MONO/BRIDGEに設定
- 2) PHASE切替スイッチ: 180度に設定

入出力の設定

- 1) 信号入力に対してはLチャンネル入力を使用します。
- 2) スピーカーへの+出力には、Lチャンネルの“H”出力端子を使用します。
- 3) スピーカーへの-出力には、Rチャンネルの“H”出力端子を使用します。

インターナルパラレルモード

リアパネルスイッチの設定

- 1) STEREO-MONO/PARALLEL-MONO/BRIDGE切替スイッチ: MONO/PARALLELに設定
- 2) PHASE切替スイッチ: 0度に設定

入出力の設定

- 1) 信号入力に対してはLチャンネル入力を使用します。
- 2) パラレルジャンパーをLチャンネルとRチャンネルのセンター“H”端子と、LチャンネルとRチャンネルのセンター“L”端子にセットします。
- 3) 残りのLチャンネルとRチャンネルの両方、または片方の出力端子をスピーカーに接続します。“H”は+、“L”は-に接続します。

ブリッジ接続

ブリッジ接続により、片チャンネルにBRAVOIIを2台(4BOXセット)使用して、ひとつのより大きな1チャンネルのモノアンプとして使用することができます。ブリッジ接続でステレオ再生を行うためには、これがもう1チャンネル分(合計8ボックスセット)必要となります。ブリッジ接続では各チャンネルに送られるパワーは約4倍になります。ブリッジ接続は大きな出力を必要とする低能率、ハイインピーダンスのスピーカーに向いています。

ブリッジ操作

注意！

2台のBRAVOIIの各アンプがインターナルパラレルモードに設定されている場合のみ、ブリッジ接続できます。ここでは1台のアンプをA、もう1台のアンプをBとして、セットアップの仕方を説明します。インターナルブリッジモードに設定している時には、絶対にブリッジ接続しないで下さい。BRAVOIIを破損する恐れがあります。

セットアップ:

- 1)各アンプをインターナルパラレルモードに設定します。
- 2)アンプAのLチャンネル入力を信号入力として使用します。
- 3)アンプAとアンプBのLチャンネルの入力をブリッジ接続キットのブリッジ接続入力用ケーブルで接続します。
- 4)アンプAのLチャンネルの“H”出力端子をスピーカー出力の+として使用します。
- 5)アンプBのLチャンネルの“H”出力端子をスピーカー出力の-として使用します。
- 6)アンプAとBのLチャンネルの“L”出力端子をブリッジ接続キットのジャンパーで接続します。
- 7)アンプAとBのDC入力をブリッジ接続キットのDCサプライハーネスで接続します。固有のカラーコードにご注意ください。

メンテナンス

- 通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水に浸した柔らかい布をよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。

SPECIFICATIONS

Class of Output Operation:	AB2
Power Rating:	350 watts continuous average power into 8 ohms ;20Hz to 20kHz with both channels driven at less than 0.1% THD 1200 watts continuous average power into 8 ohms when configured in Bridged Mode
IM Distortion(SMPTE):	1 watt to 300 watts into 8 ohms <0.075% 1 watt to 450 watts into 4 ohms
THD:	0.1%
Frequency Response:	@ 1 watt into 8 ohms (10Hz to 20kHz).....0,=+/-0.2%
Power Bandwidth:	5 Hz to 100 kHz (-3dB points)
Inputs:	Balanced – XLR
Output Connections:	Binding post for ring or forked terminals
Weight :	Amp (45.0kg) Supply (82.0kg) Packed set (127kg)
Dimensions:	Amp 447(W) 250(H) 750(D)mm Supply 447(W) 250(H) 750(D)mm